



## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社トクヤマ

コード番号 4043 URL <http://www.tokuyama.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 幸後 和壽

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IRグループリーダー (氏名) 松本 良文

TEL 03-6205-4832

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	64,362	0.7	3,101	330.1	2,500	—	2,026	—
25年3月期第1四半期	63,892	△10.0	721	△83.6	△1,141	—	△1,786	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 2,905百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △3,606百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	5.82	—
25年3月期第1四半期	△5.13	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	521,966	226,019	42.0	630.48
25年3月期	518,251	223,871	42.0	625.29

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 219,358百万円 25年3月期 217,554百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	3.00	3.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	132,000	4.8	6,000	656.8	4,000	—	2,500	—	7.19
通期	275,500	6.5	14,000	106.7	10,000	209.4	7,500	—	21.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	349,671,876 株	25年3月期	349,671,876 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	1,750,442 株	25年3月期	1,742,749 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	347,923,729 株	25年3月期1Q	347,943,061 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中でありま。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 5
(4) 追加情報	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
四半期連結損益計算書	P. 8
四半期連結包括利益計算書	P. 9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、以下のとおりとなりました。

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常損益	四半期純損益
平成26年3月期 第1四半期連結累計期間	643	31	25	20
平成25年3月期 第1四半期連結累計期間	638	7	△11	△17
増減率	0.7%	330.1%	－%	－%

(売上高)

多結晶シリコンの販売数量の減少等はありませんでしたが、塩化ビニルモノマーのプラントトラブルの影響が解消されたことによる販売数量の増加及び石油化学製品の販売価格の是正等により、前年同期より4億70百万円増加し、643億62百万円（前年同期比0.7%増）となりました。

(売上原価)

多結晶シリコンの販売数量の減少等により、前年同期より10億39百万円減少し、467億34百万円（前年同期比2.2%減）となりました。

(販売費及び一般管理費)

多結晶シリコンの販売数量の減少に伴う物流費の減少及び全社を挙げての徹底した費用削減等により、前年同期より8億71百万円減少し、145億25百万円（前年同期比5.7%減）となりました。

(営業利益)

全社を挙げての徹底した費用削減等により、前年同期より23億80百万円増加し、31億1百万円（前年同期比330.1%増）となりました。

(営業外損益・経常損益)

営業外損益は、前年同期に計上した為替差損が為替差益に転じたこと等により、前年同期より12億61百万円改善しました。そのため、経常損益は、36億42百万円改善し、25億円の利益となりました。

(特別損益・税金等調整前四半期純損益・少数株主損益調整前四半期純損益・四半期純損益)

特別損益は、前年同期に計上した株式会社エクセルシャノンの事業再構築引当金の繰入が当期は発生しなかったこと等により、前年同期より8億2百万円改善しました。

以上の結果、税金等調整前四半期純損益は、前年同期より44億44百万円改善し、24億77百万円の純利益となりました。

応分の税金費用を加味した少数株主損益調整前四半期純損益は、前年同期より36億67百万円改善し、19億68百万円の純利益となりました。少数株主損益調整後の四半期純損益は、前年同期より38億12百万円改善し、20億26百万円の純利益となりました。

(セグメント別の状況)

売上高

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	化成品	特殊品	セメント	ライフ アメニティー				
平成26年3月期 第1四半期 連結累計期間	21,125	10,297	17,311	12,586	11,174	72,495	△8,133	64,362
平成25年3月期 第1四半期 連結累計期間	20,387	12,997	17,163	11,762	10,281	72,593	△8,700	63,892
増減率	3.6%	△20.8%	0.9%	7.0%	8.7%	△0.1%	—	0.7%

営業利益

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	化成品	特殊品	セメント	ライフ アメニティー				
平成26年3月期 第1四半期 連結累計期間	362	542	1,331	732	858	3,827	△726	3,101
平成25年3月期 第1四半期 連結累計期間	126	117	1,132	432	561	2,370	△1,648	721
増減率	186.7%	360.9%	17.6%	69.5%	53.0%	61.5%	—	330.1%

(注) 1 各セグメントの売上高、営業利益にはセグメント間取引を含めております。

2 当第1四半期連結会計期間より、従来の「機能部材」セグメントを「ライフアメニティー」セグメントに名称を変更しておりますが、名称変更のみであり、当該報告セグメントの事業内容に変更はありません。

また、業績管理をより適切に行うため、従来は調整額に含めていた費用のうち、各セグメントへの関連が明確な費用については、各セグメントに直接負担させる方法に変更を行っております。

なお、平成25年3月期第1四半期連結累計期間においても、変更後の基準に基づき作成しております。

(化成品セグメント)

塩化ビニルモノマーは、前年同期に発生したプラントトラブルの影響が解消したことに加え、円安により輸出価格が上昇し、増収となりました。

苛性ソーダは、上記のトラブルの影響が解消され電解プラントの稼働率が改善し、国内向け販売数量が回復しました。

塩化ビニル樹脂は、ナフサ価格の上昇に対応するため、販売価格を是正しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は211億25百万円（前年同期比3.6%増）、営業利益は3億62百万円（前年同期比186.7%増）で増収増益となりました。

(特殊品セグメント)

多結晶シリコンは、半導体向けについては市場が回復基調にあるものの、サプライチェーンにおける在庫調整等により、販売数量が減少しました。また、太陽電池向けについても供給過剰による市況低迷が続く中、利益重視の販売戦略を取り、販売数量が低調に推移しました。

乾式シリカは、原燃料価格の上昇及び物流コスト等の負担増に対応するため、販売価格の是正に取り組みました。

以上の結果、当セグメントの売上高は102億97百万円（前年同期比20.8%減）、営業利益は5億42百万円（前年同期比360.9%増）で減収増益となりました。

(セメントセグメント)

セメントは、国内需要が回復していることに伴い、販売は堅調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は173億11百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益は13億31百万円（前年同期比17.6%増）で増収増益となりました。

(ライフアメニティーセグメント)

プラスチックレンズ関連材料は、平成23年に発生したタイ洪水によるサプライチェーンへのダメージからの回復により、増収となりました。

ポリオレフィンフィルムは、原料価格上昇に対応するため、販売価格を是正しました。

歯科器材は、新製品等の拡販により、販売が好調に推移しました。

樹脂サッシは、事業再構築を推し進め、拡販に努めた結果、増収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は125億86百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益は7億32百万円（前年同期比69.5%増）で増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は5,219億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ37億14百万円増加しました。

マレーシアでの多結晶シリコン製造設備建設は順調に進捗し、有形固定資産は増加しました。一方で、事前調達した資金を運用していた有価証券及び預金は、建設資金へ充当したため減少しました。

負債は2,959億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億65百万円増加しました。

純資産は2,260億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億48百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の事業環境については不透明な部分がありますが、現時点では収益改善計画を予定通り実施しており、業績は想定範囲内で推移しております。そのため、平成25年4月30日に公表しました業績予想を据え置きます。

本業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益（損失）に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益（損失）に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

(4) 追加情報  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	44,897	29,287
受取手形及び売掛金	65,371	61,762
有価証券	8,310	56
商品及び製品	20,275	22,162
仕掛品	13,277	12,421
原材料及び貯蔵品	17,110	18,389
繰延税金資産	547	591
その他	16,528	15,937
貸倒引当金	△205	△173
流動資産合計	186,114	160,435
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	100,129	102,174
減価償却累計額	△68,452	△70,062
建物及び構築物(純額)	31,676	32,111
機械装置及び運搬具	451,758	457,297
減価償却累計額	△401,103	△405,194
機械装置及び運搬具(純額)	50,655	52,103
工具、器具及び備品	23,044	23,184
減価償却累計額	△21,086	△21,289
工具、器具及び備品(純額)	1,958	1,894
土地	32,895	33,035
リース資産	1,482	1,455
減価償却累計額	△685	△714
リース資産(純額)	796	740
建設仮勘定	156,388	179,821
有形固定資産合計	274,370	299,706
無形固定資産		
のれん	175	3,571
リース資産	22	20
その他	7,757	7,580
無形固定資産合計	7,955	11,172
投資その他の資産		
投資有価証券	31,476	32,330
長期貸付金	4,017	3,681
繰延税金資産	965	985
その他	13,710	14,044
投資損失引当金	△21	△21
貸倒引当金	△337	△369
投資その他の資産合計	49,811	50,651
固定資産合計	332,137	361,530
資産合計	518,251	521,966

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,152	38,520
短期借入金	8,912	14,493
コマーシャル・ペーパー	4,000	4,000
1年内返済予定の長期借入金	22,144	22,751
リース債務	338	325
未払法人税等	948	798
繰延税金負債	1,377	863
賞与引当金	1,949	1,330
修繕引当金	1,755	2,929
製品保証引当金	94	81
事業再構築引当金	29	4
その他	35,923	27,973
流動負債合計	115,626	114,073
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	101,796	106,055
リース債務	514	461
繰延税金負債	5,993	6,287
退職給付引当金	969	985
役員退職慰労引当金	214	201
修繕引当金	2,687	2,741
製品補償損失引当金	1,276	1,132
環境対策引当金	156	154
資産除去債務	5	5
その他	15,138	13,845
固定負債合計	178,753	181,872
負債合計	294,380	295,946
純資産の部		
株主資本		
資本金	53,458	53,458
資本剰余金	57,670	57,670
利益剰余金	99,058	99,988
自己株式	△1,414	△1,416
株主資本合計	208,773	209,700
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,566	8,135
繰延ヘッジ損益	2,238	1,366
為替換算調整勘定	△1,023	156
その他の包括利益累計額合計	8,781	9,657
少数株主持分	6,316	6,661
純資産合計	223,871	226,019
負債純資産合計	518,251	521,966

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	63,892	64,362
売上原価	47,773	46,734
売上総利益	16,118	17,627
販売費及び一般管理費		
販売費	8,632	8,527
一般管理費	6,765	5,998
販売費及び一般管理費合計	15,397	14,525
営業利益	721	3,101
営業外収益		
受取利息	16	9
受取配当金	274	307
持分法による投資利益	178	131
為替差益	—	289
団体定期保険配当金	200	181
その他	396	232
営業外収益合計	1,067	1,150
営業外費用		
支払利息	533	639
休止部門費	435	698
団体定期保険料	241	237
為替差損	1,130	—
その他	589	176
営業外費用合計	2,930	1,752
経常利益又は経常損失(△)	△1,141	2,500
特別利益		
固定資産売却益	3	2
投資有価証券売却益	9	88
特別利益合計	13	91
特別損失		
固定資産売却損	1	—
固定資産処分損	48	36
関係会社株式売却損	—	78
事業再構築引当金繰入額	750	—
その他	39	—
特別損失合計	838	114
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,967	2,477
法人税等	△268	508
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,698	1,968
少数株主利益又は少数株主損失(△)	87	△57
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,786	2,026

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	△1,698	1,968
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,069	577
繰延ヘッジ損益	△1,599	△872
為替換算調整勘定	664	1,130
持分法適用会社に対する持分相当額	96	101
その他の包括利益合計	△1,908	937
四半期包括利益	△3,606	2,905
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,732	2,902
少数株主に係る四半期包括利益	125	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化成品	特殊品	セメント	ライフ アメリ ティー				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	20,165	10,459	17,127	11,135	5,005	63,892	—	63,892
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	222	2,538	36	627	5,276	8,700	(8,700)	—
計	20,387	12,997	17,163	11,762	10,281	72,593	(8,700)	63,892
セグメント利益	126	117	1,132	432	561	2,370	(1,648)	721

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外販売会社、運送業、不動産業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、報告セグメントに帰属しない基礎研究開発に係る費用等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化成品	特殊品	セメント	ライフ アメリ ティー				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	20,869	8,037	17,268	12,177	6,008	64,362	—	64,362
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	256	2,260	42	409	5,165	8,133	(8,133)	—
計	21,125	10,297	17,311	12,586	11,174	72,495	(8,133)	64,362
セグメント利益	362	542	1,331	732	858	3,827	(726)	3,101

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外販売会社、運送業、不動産業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、報告セグメントに帰属しない基礎研究開発に係る費用等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来の「機能部材」セグメントを「ライフアメニティー」セグメントに名称を変更しておりますが、名称変更のみであり、当該報告セグメントの事業内容に変更はありません。

また、業績管理をより適切に行うため、従来は調整額に含めていた費用のうち、各セグメントへの関連が明確な費用については、各セグメントに直接負担させる方法に変更を行っております。

なお、変更後の基準により作成した前第1四半期連結累計期間に係る報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、「前第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）」に記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

記載すべき重要な事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「セメント」セグメントにおいて、Holcim (Nouvelle Calédonie) S.A. (平成25年6月28日付でTokuyama Nouvelle Calédonie S.A.に社名変更)の株式を取得し子会社化しました。当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間において3,374百万円であります。

(重要な負ののれんの発生益)

記載すべき重要な事項はありません。